

DEIM Forum 2014 論文集 L^AT_EX 2_ε クラスファイル

サブタイトル

内海 薫^{†,††} 湯川 学^{††} 草薙 俊平^{†††}

[†] 修善寺大学情報学部 〒 410-2415 静岡県伊豆市大平 1529

^{††} 帝都大学理工学部物理学科 〒 100-0001 東京都千代田区千代田 1 番 1 号

^{†††} 帝都大学工学部情報工学科 〒 602-0881 京都府京都市上京区京都御苑 3

E-mail: [†]kaoru@lafore.ac.jp, ^{††}manabu@royal-u.ac.jp, ^{†††}kusanagi@gmail.com

あらまし DEIM Forum 2014 論文集のテンプレートファイルです。

キーワード L^AT_EX 2_ε, アスキー版 pL^AT_EX 2_ε, タイピングの注意事項

1. タイトル・概要に関して

1 ページ目上部には, タイトル, 発表者氏名, 所属, 住所, メールアドレス, キーワードの和文と英文及びあらまし (和文 300 字程度, 英文 100 語程度) を, それぞれ記述してください。なお, 和文論文については英文タイトル, アブストラクト等は削除して頂いて構いません。下記のコマンドで講演番号を挿入して下さい。

`\papernumber{DEIM Forum 2014 XX-Y}`

XX はセッション番号 (例: 1A, 3B), Y はセッション内での発表順 (1, 2, ...) です。番号についてはプログラムをご覧ください。なお, プログラム決定前の初回投稿時には XX-Y の部分の記入は不要です。

2. 原稿提出枚数

所定のページ数 (4~8 ページ) を厳守してください。Ph.D セッション投稿者は 8 ページを推奨します。

3. 原稿の書き方

原稿のスタイルは, A4 サイズで, 9 ポイントのフォントを使用し, 2 段組み, シングルスペースとして下さい。

文 献

- [1] 大河内民明丸, 「分子核構造その理論」, 民明書房
- [2] Lilis Aadam, Lilin Tabris, and Tohji Suzuhara “SKATER'SWALTZ: Good Presentation for DEIM”, Proc. of ACM ROBOT, pp. 10-22, 2010.